

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名: アスクル マルチプリンタラベル
 会社名: アスクル株式会社
 住所: 東京都江東区豊洲 3-2-3
 担当部門: リテール事業本部 品質・環境マネジメント
 電話番号: 0120-56-1147

2. 危険有害性の要約

分類の名称: 分類基準非該当
 危険性・有害性: 特に危険性、有害性はないが一部が可燃性で、指定可燃物に該当する
 ※1 剥離紙、「品名: ぼろ及び紙くず、数量: 1,000kg」に該当
 尚、燃焼性に関するデータは以下の通りです。
 引火点: データなし 発火点: 291℃(新聞紙)
 燃焼時に発生するガス: 一酸化炭素、二酸化炭素 等
 環境影響: 通常使用条件下で問題無し
 物理及び化学的
 危険性 通常使用条件下で問題無し
 GHS分類: 分類対象外 ※一般環境下では危険有害性に関する有用な情報無し

3. 組成及び成分情報

単一品・混合物の区別: 混合物

分類	物質名	CASNo.	安衛法No.
粘着剤	アクリル共重合体 水	42398-14-1 7732-18-5	-
剥離紙	セルロース シリコーン	-	-
用紙	パルプ	-	-

4. 応急措置

眼に入った場合: 最低15分間清浄な水で洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受ける
 皮膚に付着した場合: 付着した衣服、靴を脱ぎ、付着部を拭取り、水と石鹼でよく洗う
 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること
 吸入した場合: 直ちに空気の新鮮な場所に移す。保温して安静に保つ。速やかに医師の診断、
 手当てを受けること
 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師の診断、手当てを受けること

5. 火災時の措置

消火剤: 水、強化液、泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素、ドライケミカル、炭酸ガス
 消火方法: 消火作業は適切な保護具を着用し、風上で行う。可能性のものを周囲から速やか
 に取り除く
 特有の消火方法: 製品自体には可燃性のものはないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。
 火災発生場所の周辺に、関係者以外の立入りを禁止する
 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 保護具及び緊急時措置:	ばく露防止の為、保護具を着用して作業を行い、蒸気の吸入や皮膚への接触を防止する 漏出した場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する 付近の着火源を取り除き、消火機材を準備する
環境に対する注意事項:	本製品を含む廃水の公共用水域への排出又は地下浸透を防止する為、本製品が影響をお呼びす床面等を、水で洗い流してはならない
除去方法:	少量の場合はおが屑などで、回収する
二次災害の防止策:	付近の着火源となるものを、速やかに除くとともに消火剤を準備する

7. 取扱い及び保管上の注意**【取扱い】**

技術的対策:	着衣、皮膚、粘膜に触れたり、眼に入らないように適切な保護具を着用する
局所排気・全体換気:	取り扱う場合は、局所排気内、または全体換気の設備のある場所で取り扱う
注意事項:	設備を密閉化し、蒸気が発生しないように取り扱う
安全取り扱い注意事項:	ばく露防止の為、保護具を着用して作業を行う 蒸気の吸入、皮膚への接触を避ける。作業場の換気を十分に行う

【保管】

適切な保管条件:	凍結、直射日光を避け、涼しい所、換気の良い場所で密閉し保管する 保管時の温度は5℃以下、或いは35℃以上にならないようにする
安全な包装材料:	不浸透性のもの、腐食、破損のないものを使用する

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策:	密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する
-------	--------------------------

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態:	固体、シート、液体
--------	-----------

10. 安定性及び反応性

一般的な環境下では安定

11. 有害性情報

現在のところ人に対しての、有害性に関する疫学的な情報無し

12. 環境影響情報

現在のところ、環境影響に関する有用な情報無し

13. 廃棄上の注意

製品、包装材などは産業廃棄物に関する法律、都道府県及び市町村の関連条例などを満足する処分をする

14. 輸送上の注意

転倒や荷崩れしないように積載する
雨天などの際には、防水処置をとる

15. 適用法令

労働安全衛生法 別表第9の37「アルミニウム水溶性塩」
労働安全衛生法 別表第9の632「ロジン」

16. その他の情報

本製品は、食品と直接接触する用途には、使用できません